13年8月刊行

日本女性差別事件資料集成 9

平等を求め立ちあがった女性たちの比類なき裁判資料

母性保護事件資料I

解題：浅倉むつ子（早稲田大学大学院法務研究科教授）

全8巻B5判・上製本　別冊1
総ページ数3048頁
本体価格240,000円　*分売不可
ISBN978-4-86369-289-3

すいれん舎

本シリーズの刊行趣旨

『日本女性差別事件資料集成』は差別と闘ってきた人々の詳細なドキュメントである。原告から提供された裁判資料とその関連資料を忠実に復刻し、それぞれの事件の現代的意味を考察するとともに、女性の権利の進展を俯瞰しようとするものである。

本資料集の特色

1 原告、代理人、支援者たちから提供された貴重な裁判資料

民事事件資料の裁判所での保存期間はわずか5年。判決文のみが50年保存。全国の原告、代理人、支援者を訪ねて資料を収集、裁判所にさえ存在しない文書など貴重な裁判資料、関連資料を多数収録。

2 母性保護訴訟などテーマ別に事件を収録

財団法人21世紀職業財団が編纂している『女性労働の分析』に準じて事件を分類、同書に掲載された事件についてはほとんど網羅。第9期は母性保護事件を2事件6（判決・和解）にわたる裁判資料と法廷外資料を収録。事件別資料は下級審から上級審に向けて時系列順に配列。

3 生理休暇権、育児のための深夜業免除などを争った歴史的訴訟資料

タケダシステム事件については一審の訴状から最高裁の判決、さらに差戻し審の判決とその後の労働委員会による和解までの資料を掲載。生理休暇権をめぐる20年にわたる闘いをあとづけた。日本航空インターナショナル事件については準備書面や証人調書など原告、被告双方分をほぼ完全収録した。育児をしながら働き続ける女性の権利を問う貴重な裁判資料集。

4 判決文のほか裁判資料を多数掲載

裁判資料は判決文のほか訴状、答弁書、準備書面、告陳述書などを収録したほか、判決に大きな影響を与鑑定意見書についてもできる限り掲載した。さらに企準備書面についても積極的に収録した。

5 裁判闘争支援団体の会報チラシなども掲載

裁判闘争を支えた運動、組織団体（各事件の原告を会や労働組合）などの会報、チラシなども収録。法廷の闘いについても軌跡が追えるように努めた。さらに原人の陳述書などもできるだけ収録した。

6 詳細な資料総目次を作成

別冊解題資料に丁寧な解題を付したほか、詳細な資料目次を作成し利用者の便をはかった。

●タケダシステム事件和解後の勝利報告集会での原告団と支援共闘会議議長

●11.8婦人のための総行動でのタケダシステム原

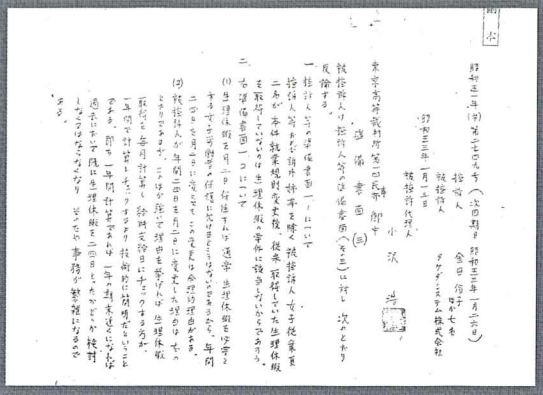
●東京地裁での勝利を喜ぶ日本航空インターナショナルの原告団

●「育児・介護と仕事の両立　JALはママさんスチュワーデスに仕事を!!」の横断幕を広げる原告

9期収録資料一覧

事件名	裁判所	判決日・和解日	判決・和解	巻構成	訴状
タケダシステム事件	東京地裁	1976年11月12日	判決	1・3	○
	東京高裁	1979年12月20日	判決	2・3	
	最高裁	1983年11月25日	判決	2・3	
	東京高裁	1987年　2月26日	判決	2・3	
		1992年　9月	和解	3	
日本航空インターナショナル事件	東京地裁	2007年　3月26日	判決	4・5・6・7・8	○

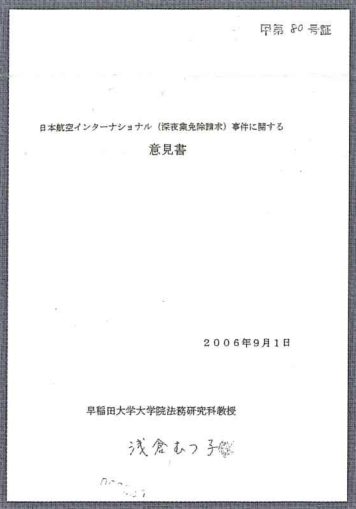
原告団と支援者



●裁判資料の主体は準備書面

●原告団、支援団体、労働組合の会報、ニュースなど、法廷外の闘いを記録する貴重な資料

団と支援者たち



甲第 80 号証

日本航空インターナショナル（深夜業免除請求）事件に関する

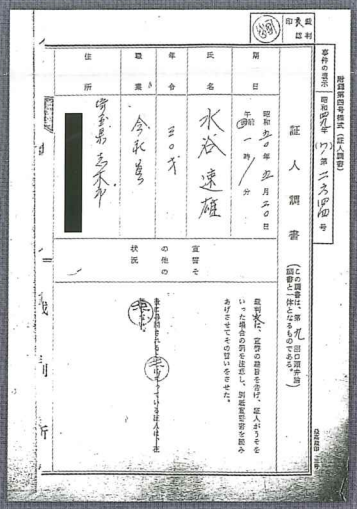
意見書

2006年9月1日

早稲田大学大学院法務研究科教授

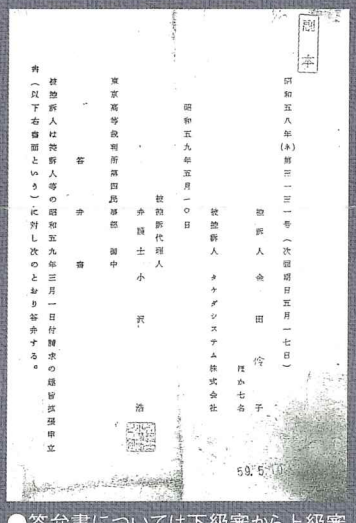
浅倉むつ子

●判決に大きな影響を与える鑑定意見書はできる限り収録した

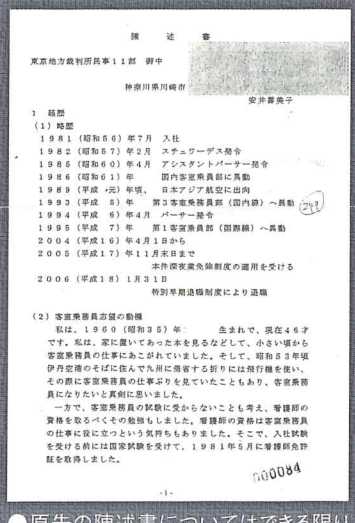


証人調書

●証人調書は原告側のものを主として収録。日本航空インターナショナル事件に関しては被告側についてもカバーした。



●答弁書については下級審から上級審すべてのものについて掲載した。



陳述書

東京地方裁判所民事１１部　御中

神奈川県川崎市

安井喜美子

１　略歴

（１）略歴

１９８１（昭和５６）年７月　入社
１９８２（昭和５７）年２月　ステュワーデス発令
１９８６（昭和６０）年４月　アシスタントパーサー発令
１９８６（昭和６１）年　国内客室乗員部に異動
１９８９（平成・元）年頃、　日本アジア航空に出向
１９９３（平成　５）年　第３客室乗務員部（国内線）へ異動
１９９４（平成　６）年４月　パーサー発令
１９９５（平成　７）年　第１客室乗員部（国際線）へ異動
２００４（平成１６）年４月１日から
２００５（平成１７）年１１月末日まで
本件深夜業免除制度の適用を受ける
２００６（平成１８）１月３１日
特別早期退職制度により退職

（２）客室乗務員志望の動機

私は、１９６０（昭和３５）年　生まれで、現在４６才です。私は、家に置いてあった本を見るなどして、小さい頃から客室乗務員の仕事にあこがれていました。そして、昭和５３年頃伊丹空港のそばに住んでた頃に頻繁する折りには飛行機を使い、その際に客室乗務員の仕事ぶりを見ていたこともあり、客室乗務員になりたいと真剣に思いました。

一方で、客室乗務員の試験に受からないことも考え、看護師の資格を取るべくその勉強もしました。看護師の資格は客室乗務員の仕事に役に立つという気持ちもありました。そこで、入社試験を受ける前には国家試験を受けて、１９８１年５月に看護師免許証を取得しました。

000084

-1-

●原告の陳述書についてはできる限り収録した。

答弁書	準備書面	弁論要旨	鑑定意見書	判決	証人調書	証拠資料	法廷外運動資料
○	○			○	○		○
○	○			○	○		○
○		○		○			○
○	○			○			○
							○
○	○		○	○	○	○	○

権利を闘いとってきた女たち

上野千鶴子
（立命館大学大学院特別招聘教授）

日本では、法律が世の中を変えることは、めったにない。

法律ができたときには、社会通念も慣行も、とっくに変わっている。

それを闘いとってきたのは、差別をうけ、それを差別とはっきり認識し、法廷で闘ってきた女性たちと彼女たちを支えた専門家や支援者たちだ。判例が積み重なり、慣行が変わってから、あたかも事実を追認するかのように、ようやく法律が現実に追いつく。女性の採用差別や昇進差別も、結婚退職制も、若年定年制も、差別定年制も、そうやってなくなっていったものだ。85年に男女雇用機会均等法ができて、職場の女性差別を禁止したとき、すこしも新しさを感じなかったのは、その程度の禁止なら、裁判闘争でとっくに獲得していたからだ。

権利も制度も、闘わなければ手に入らない。与えられたときには、求めたものとは違うものをさしだされている。そして手にいれたと思ったはずのものも、いつのまにか足もとを掘り崩される。男女平等が空気のようにあたりまえだとおもっている若い女たちにも、それが先輩の女たちのどんな血の滲むような闘いに支えられているかを、たまにはふりかえってほしい。

推薦者（五十音順）

天野正子（東京家政学院大学学長）
家田愛子（札幌学院大学教授）
遠藤公嗣（明治大学教授）
奥平康弘（東京大学名誉教授）
神長百合子（専修大学教授）
西谷　敏（大阪市立大学名誉教授）
林　弘子（宮崎公立大学学長）
平澤克彦（日本大学教授）
森ます美（昭和女子大学教授）
森まゆみ（作家）
脇田　滋（龍谷大学教授）
和田　肇（名古屋大学教授）

《本シリーズの全体構成》

【既刊】

1期　日本弁護士連合会　両性の平等に関する委員会資料
2008年11月●本体価格250,000円

2期　結婚・出産退職制、若年定年制、差別定年制等事件資料
2009年9月●本体価格250,000円

3期　賃金差別事件資料Ⅰ
秋田相互銀行不当利得金返還請求事件ほか
2009年12月●本体価格250,000円

4期　賃金差別事件資料Ⅱ
2010年10月●本体価格250,000円

5期　賃金差別事件資料Ⅲ
2011年9月●本体価格250,000円

6期　賃金差別事件資料Ⅳ
2011年12月●本体価格250,000円

7期　非正規社員解雇・差別事件資料Ⅰ
2012年8月●本体価格250,000円

8期　非正規社員解雇・差別事件資料Ⅱ（派遣社員雇止め事件）
2012年12月●本体価格250,000円

9期　母性保護事件資料Ⅰ
2013年8月●揃本体価格240,000円

【刊行予定】

10期　母性保護事件資料Ⅱ
2013年11月●揃本体予価250,000円

11期　セクシュアル・ハラスメント事件資料
2014年6月●揃本体予価250,000円

《販売対象》

●**経営学部：**労務管理　●**家政学部：**ジェンダー、生活科学、生活経済
●**文学部：**、フェミニズム、女性史、婦人運動　●**法学部：**労働法、民法、憲法、人権法、法哲学
●**社会学部：**ジェンダー、女性学、社会運動、都市社会学、地域社会学　●**経済学部**

株式会社 すいれん舎
〒101-0052　東京都千代田区神田小川町3-14-3-601
TEL.03-5259-6060　FAX.03-5259-6070
E-mail　masato@suirensha.jp

取扱店